

# 十二指腸腫瘍内視鏡切除後の偶発症予防処置 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年11月13日 ～ 2025年3月31日

## 〔研究課題〕

十二指腸腫瘍内視鏡切除後の偶発症予防法

## 〔研究目的〕

内視鏡治療技術の進歩により多くの十二指腸腫瘍が内視鏡治療で切除されています。しかし、その処置は出血や穿孔などの偶発症率が高いことが報告されており、これらの偶発症を予防する手段が必要です。当院では主に内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)症例に対して、クリップなどで潰瘍底を縫縮し、体内で使えるシートを埋め込み、血液製剤で固めることで偶発症予防としている症例が多くあり、本研究は、この方法の臨床経過を検討することで、安全性と有効性を評価することを目的としています。

## 〔研究意義〕

当院の十二指腸内視鏡治療症例の臨床経過を検討することで、内視鏡治療の適切な偶発症予防策を検討します。

## 〔対象・研究方法〕

医療記録(カルテ)から、当院で2017年10月から2023年10月までに行った十二指腸ESD症例の詳細のデータを収集し、偶発症予防策の安全性、有効性を評価します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定され得る記録については削除し、学内の規定(プライバシーポリシー)に従って、学内の施錠可能な場所に保管します。データ使用拒否の申し立てがあった場合には症例リストから削除します(統計処理を行った後には削除できません)。研究終了後、帝京大学臨床研究センターに提出し、10年保管後に廃棄します。発表に関しては個人が特定されないように集計値として扱います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 小田島慎也 職名 准教授

研究分担者: 氏名 阿部浩一郎 職名 准教授

研究分担者: 氏名 丸山喬平 職名 助教

所属: 帝京大学医学部内科学講座

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 16643]